

城端線・氷見線の利用・活性化につながる取組みについて

○駅及び駅周辺における公共交通の利用環境の整備

- ・高岡駅周辺のエリア（駅東地区等）について、民間を中心とした再開発事業が進行（高岡市）
- ・まちなかへの居住誘導や商業集積の駅南地区への拡大を図り、高岡駅の南北一体化に向けたまちづくりを推進（高岡市）
- ・市街地の渋滞緩和や公共交通の利用促進を図るため、沿線企業等が所有する駐車場と連携し、パークアンドライドを推進（高岡市）
- ・氷見駅周辺の駐車場拡充と駅前ロータリーの整備によるパークアンドライドの推進及び駅へのアクセス道路の整備による利便性の向上（氷見市）
- ・島尾駅に新たなトイレを整備し、サイクリストなどの観光客の利用環境を向上（氷見市）
- ・福光駅二線橋の自由通路化による利用者の利便性向上（南砺市）
- ・福光駅の待合室の改修により、快適な待合環境を提供するとともに、イベントスペースとしての活用による駅の賑わいを創出（南砺市）

○公共交通ネットワークの整備、充実

- ・中心市街地と周辺市街地をつなぐ鉄軌道やバスなどの骨格的公共交通を維持するとともに、接続するフィーダー交通（地域の実情に応じた市民協働型の地域交通システム等）の導入を促進（守山地区、野村地区、中田地区）（高岡市）
- ・まちなか回遊促進モビリティ「ヒミカ」を整備し、観光客の2次交通の選択肢を充実（氷見市）
- ・これまで運行していたデマンドタクシーにAI配車システムを導入し、運行エリアを拡大。今後、段階的に運行エリアを市内全域に広げ、高齢者等の外出機会を創出し、JRをはじめとした公共交通利用の促進につなげる。（砺波市）

○その他利用・活性化につながる取組

- ・観光列車べるもんた1号が砺波駅始発となったことに伴う、新たなツアー商品の造成（砺波市）
- ・昨年度、地域公共交通計画を策定し、今後同計画に基づき城端線駅を中心とした有機的な交通ネットワークの形成をはじめ、市営バスをはじめデマンドタクシーや民間路線バス等フィーダー交通との接続によって公共交通全体の利用促進につながる施策等を実施（砺波市）